

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

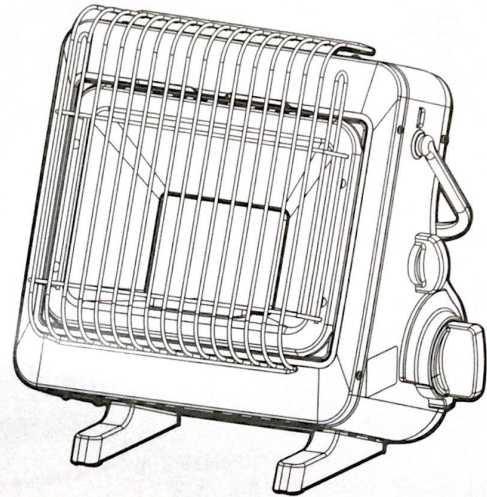
家庭用

取扱説明書

イワタニ カセットガスストーブ

ポータブルタイプ

CB-CGS-PTB 屋内専用



このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本商品を安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。そしてお使いになる方がいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
【保証書付：裏表紙が保証書になっています】




目次

- 1. 各部の名称とはたらき 1
- 2. 安全装置、寸法図、仕様 2
- 3. 特に注意していただきたいこと 3~7**
- 4. 使用方法 8~9
- 5. 日常の点検・手入れ、故障・異常時の処置 10
- 6. アフターサービス、保証書 裏表紙







本商品は一般家庭でご使用いただく屋内用ストーブです。
誤った使い方や特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の故障や焼損のおそれがあります。
本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解いただき、正しくご使用ください。

〈ご使用前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物の損害のみの発生が想定される場合を表しています。

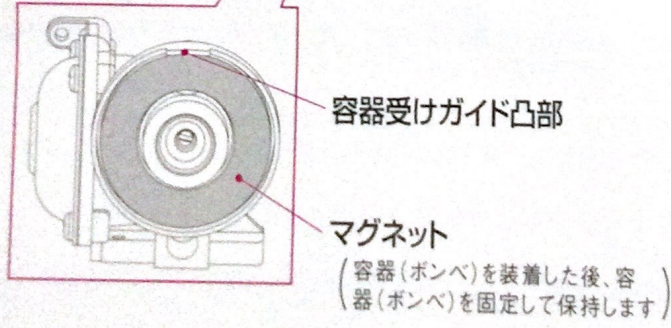
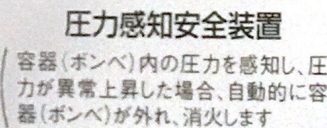
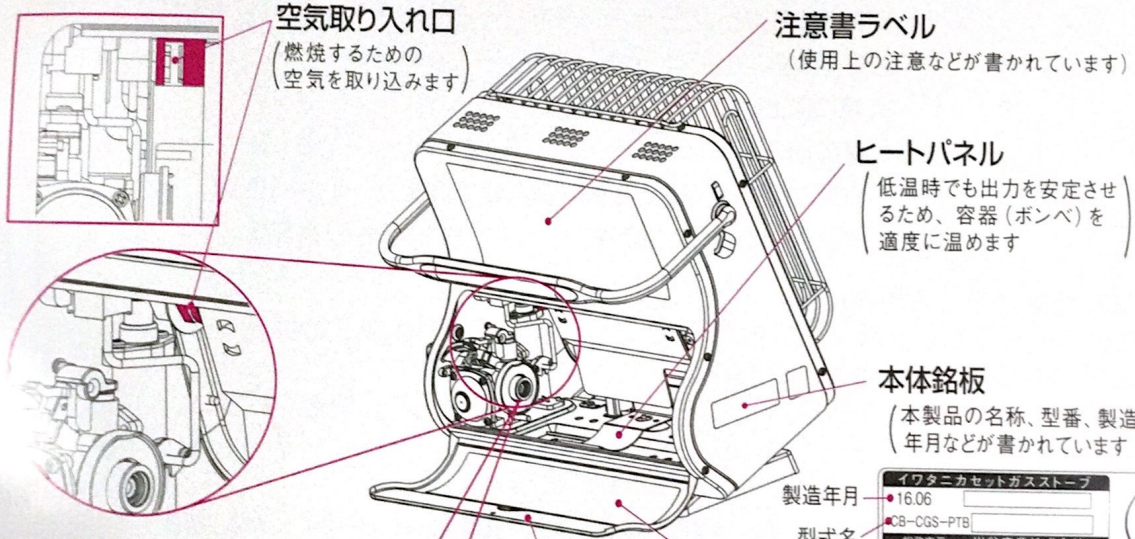
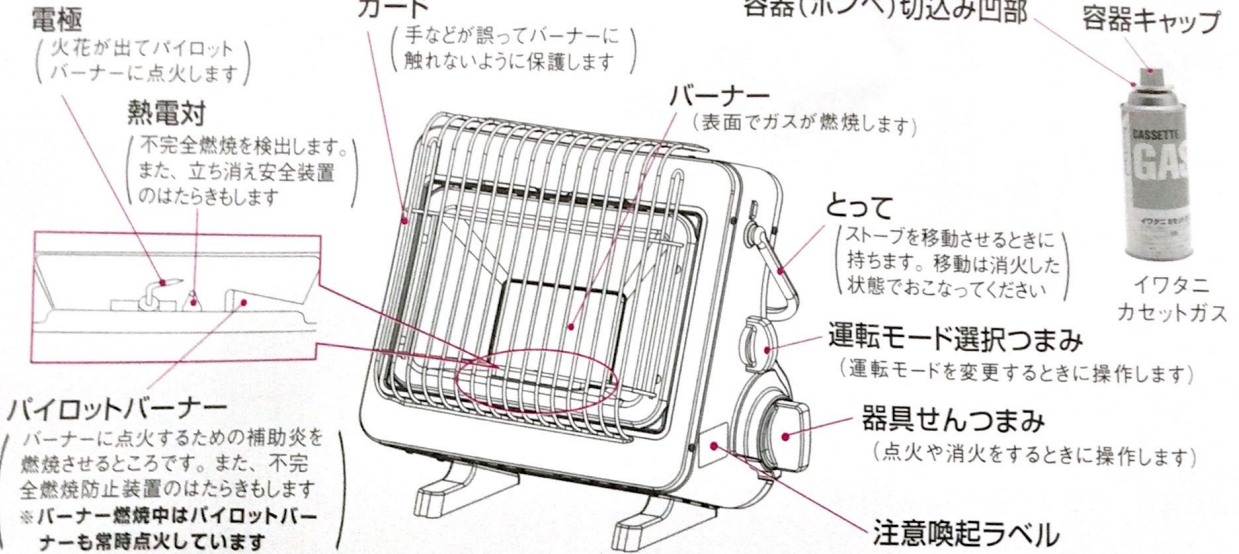
〈絵表示には次のような意味があります〉

-  一般的な危険・警告・注意
-  必ず行う
-  一般的な禁止
-  火気禁止
-  接触禁止
-  分解禁止

Iwatani

1. 各部の名称とはたらき

■各部の名称



■容器(ボンベ)装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。

マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れや容器(ボンベ)がセットできなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。

マグネット

粘着テープ

鉄片、鉄粉

2. 安全装置、寸法図、仕様

■搭載されている安全装置について

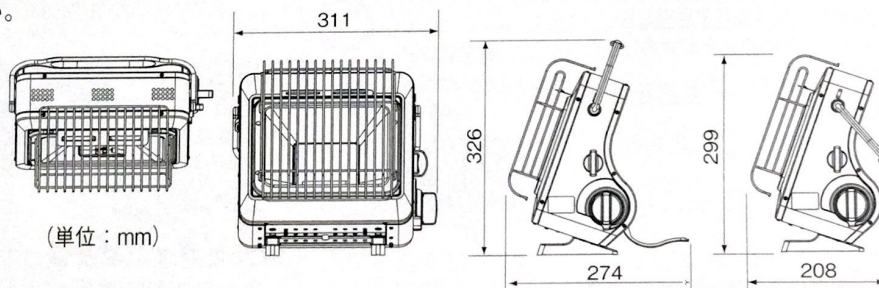
●本商品には4つの安全装置が搭載されています。各安全装置のはたらきは以下のとおりです。

安全装置	はたらき	原因	処置方法
圧力感知安全装置	容器(ボンベ)が過熱され、容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的に容器(ボンベ)が外れ、ガスの流れが止まり、ストーブを消火します。	容器(ボンベ)が過熱されて温度が上がり、容器内の圧力が異常上昇しています。	①器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。 ②容器(ボンベ)をストーブから取り外してください。 ③「特に注意していただきたいこと」をよく読んで、原因を取り除いてください。 ④新しい容器(ボンベ)をセットしてください。 (新しい容器(ボンベ)がない場合には、外した容器(ボンベ)を水で冷やしてからセットしてください。冷やさないと再び容器(ボンベ)が外れることがあります。) ⑤点火してください。もどおり正常に使用します。
立ち消え安全装置	風などによって火が消えたときに、自動的にガスを遮断します。	強い風が吹いたときなどにおこります。	点検後、風がないことを確認して、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前にガスを遮断して消火します。	1) 換気不足などにより、ストーブ周辺の酸素濃度が低下してバーナーが不完全燃焼をおこしています。 2) バーナーの空気取り入れ口にほこりがつまっています。	1) お部屋の換気を十分に行い、再点火してください。 2) バーナーの空気取り入れ口のほこりを掃除機などで吸い取ってください。
転倒時消火装置	ストーブが倒れたり、強い衝撃が加わったときに、自動的にガスを遮断してストーブを消火します。	ストーブが倒れたり傾いて設置されています。	ストーブの設置場所が水平で安定している事を確認してください。

安全装置が作動したときの処置

- 使用中にバーナーが消火したときは、すぐに器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。
- 安全装置が作動した後、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくり返すような場合は、お買い上げの販売店、または当社にご連絡ください。

■寸法図



■主な仕様

機種名	イワタニカセットガスストーブ ポータブルタイプ
型式	CB-CGS-PTB
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置(容器離脱型)、転倒時消火装置、立ち消え安全装置 不完全燃焼防止装置
暖房の目安	木造戸建住宅:3畳まで コンクリート集合住宅:4畳まで (暖房の目安は温暖地を基準としています)
最大外形寸法(使用状態)	311mm(幅)×208mm(奥行)×299mm(高さ) とってを立てない状態 311mm(幅)×274mm(奥行)×326mm(高さ) とってを立てた状態
本体重量	約2.6kg(容器(ボンベ)は含まず)
使用ガス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	標準モード:約1.0kW(約900kcal/h 約76g/h) ※エコモードにすると出力(ガス消費量)が約15%少なくなります。 イワタニカセットガス使用時:標準モード 約200分
連続燃焼時間	使用状況や気温により異なります。 燃焼時間は目安としてください。 <新品容器(ボンベ)を全て使用した時の実測値。気温20~25℃>
使用容器	イワタニカセットガス
使用可能環境	気温+5~25℃の室内

3. 特に注意していただきたいこと

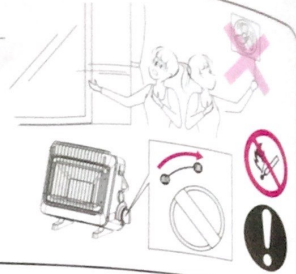
■火災事故、ガス事故防止のために

⚠危険 火災予防、ガス事故防止のために。

●ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのニオイ(くさった玉ねぎのようなニオイ)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまりますので、電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないで、すぐに次の処置を行ってください。(引火により爆発のおそれがあります)

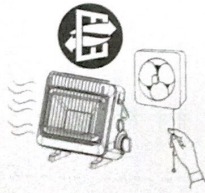
- ① 直ちに火を止める。(器具せんつまみを「消」の位置にする)
- ② 容器(ボンベ)を外す。
- ③ 窓や戸を開けて漏れたガスを外に出す。(換気扇は使用しないでください)



⚠警告 火災予防、ガス事故防止のため、次のことをお守りください。

●使用中は換気をする

使用中は換気に注意し、時々(1時間に1回、1分程度)窓を開けるか、換気扇を回すなどして、換気をしてください。
閉めきった部屋で使用すると酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。



●予備の容器(ボンベ)やヘアスプレーなどを置かない

ストーブを使用中、近くに予備の容器(ボンベ)やヘアスプレーなどを放置しないでください。引火や爆発のおそれがあります。

●ヘアスプレーなどを使用しない

ストーブを使用中、ヘアスプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。引火や爆発のおそれがあります。



●火を点けたままそばを離れない

火を点けたままで、ストーブのそばを離れないでください。外出や就寝の際は必ず消火を確認してください。電話や来客などの場合も、火を消してください。



●子供だけの場所で使用しない

本商品の取扱説明書を理解した大人の監視がゆきとどかない場所、あるいはお子様しかいない場所で、本商品が使用されることのないようにしてください。誤った使用や接触により、火災ややけどの危険があります。

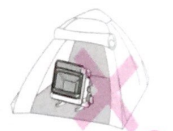
●ストーブを衣類の乾燥や食品の加熱など本来の目的以外に使用しない

衣類が落下するなど、火災の原因となります。



●テント内や車内など狭い場所では使用しない

テント内や車内など狭い場所では絶対に使用しないでください。酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。また周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。



●上部やガードの上にはやかんや鍋など調理器具をのせない

火災ややけどの原因となります。



●使用後は容器(ボンベ)を取り外す

使用後長時間使用しない場合は火災予防、ガス事故防止のため、容器(ボンベ)を必ずストーブから取り外し、必ずキャップをして保管してください。



●火を点けたまま傾けたり持ち運ばない

火災ややけどの原因となります。



●一度で点火しなかった場合は注意

再点火の際は、ガスのニオイがなくなったことを確認してから行ってください。溜まったガスに引火することがあります。

●ガードを外したままで使用しない

やけどや火災のおそれがあります。

●傾斜した場所では使用しない

炎が大きくなることもあり、やけどや火災のおそれがあります。

●点火棒やライター等をとっての上や本体周りに置かない

爆発のおそれがあります。

3. 特に注意していただきたいこと

■火災事故、ガス事故防止のために

⚠ 警告 火災予防、ガス事故防止のため、次のことをお守りください。

● **燃焼中のガード、本体は、熱いのでさわらない**

燃焼中のガード、本体は、バーナーに近接しているため大変高温になっています。やけどのおそれがありますので、絶対にさわらないでください。



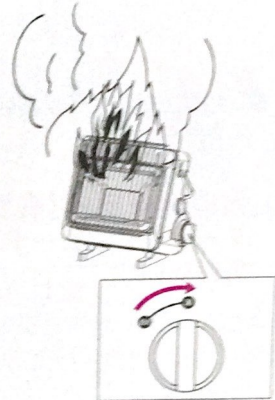
● **消火直後のガード、本体は、熱いのでさわらない**

消火後もしばらくは、ガード、本体は熱くなっています。やけどのおそれがありますので、絶対にさわらないでください。



● **異常時の処置**

点火しなかったり、使用中に消火したり、また異常な燃焼、ニオイ、異常音がするなどふだんと違った状態になったときや、地震、火災など非常時には、ただちに使用を中止し、器具せんつまみを「消」の位置に戻して、完全に消火したことを確認して、容器（ボンベ）を取り外してください。そのままにしておく、爆発や火災の原因になります。異常を感じたときは10ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」を参照してください。それでもおわかりにならないときは、裏表紙のアフターサービスの項に記載されています連絡先までお問い合わせください。



器具せんつまみを「消」にする

● **改造・分解の禁止**

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。思わぬ事故の原因になります。



● **低温やけどに注意**

ストーブの近くでうたた寝をするなど、長時間無意識に熱気にあたり続けしないでください。

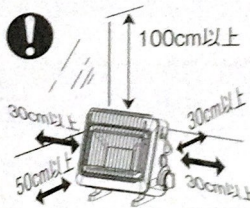
● **熱気を長時間、直接体にあてない**

体調悪化や健康障害、低温やけどの原因になります。

⚠ 注意

■ **周囲の防火措置**

● 使用の際には家具や壁（木造建築）などの可燃物から側面、背面は30cm以上、正面は50cm以上離してご使用ください。ストーブ上方と、可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100cm以上離してください。



● 塗装など熱に弱いものなどの上でご使用のときは不燃性の断熱材をストーブの下に敷いてください。（使用中のストーブの底部や本体前側の床面はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください）

● ストーブの下に燃えやすいもの、熱に弱いもの（ビニールクロス、新聞紙など）を敷いたり、通気の妨げになるものを置かないでください。

● **暖房以外の用途に使用しない**

過熱や異常燃焼などによる焼損や火災、やけどなどの危険があります。



● **ストーブのバーナー付近に顔や手を近づけない**

炎によりやけどのおそれがあります。



● **使用中および消火後しばらくはストーブに触れない**

使用中および消火直後のストーブは高温になっています。しばらくは器具せんつまみと、とって以外には手を触れないでください。



● **ストーブに乗らない**

ストーブの上に腰かけたり、乗ったりしないでください。落下、転倒などにより、ケガの原因になることがあります。また、ストーブの破損による故障ややけどのおそれがあります。



● **ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためご使用前に点検（有償）をおすすめします。**

※ 部品保有期間が過ぎた製品は、修理できない場合があります。



⚠ 注意

■ **製品の経年劣化に関するご注意**

本製品のガスの接続口にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。本製品においては、製造後10年を目安に買い替えをご検討いただきますようお願い申し上げます。

お願い

● 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も時々燃焼していることをお確かめください。

お願い



3. 特に注意していただきたいこと

■容器(ボンベ)の過熱注意

警告 次のような使い方は容器(ボンベ)が過熱し、爆発の原因となったり、火災ややけどになる可能性がありますので絶対にしないでください。

1) 2台以上近づけて使用しない

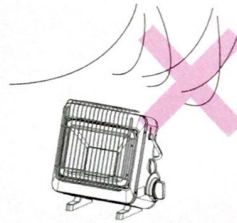


本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●2台以上並べての使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。

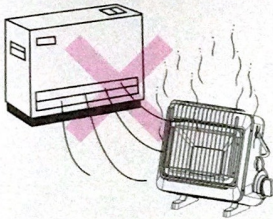
5) 強い風のところでは使用しない



強い風があたるところで使用すると、火が消えたり、パイロットバーナーの炎がストーブ本体に巻き込まれ、事故や本体焼損の原因になります。またバーナーの異常燃焼で炎が大きくなったりすることがあります。



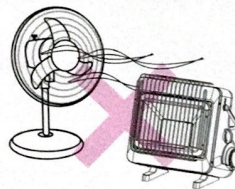
2) 他の暖房機器(石油ストーブ、電気ヒーター、ファンヒーターなど)と近づけて使用しない



他の暖房機器の熱が容器(ボンベ)に伝わり爆発するおそれがありますので、絶対におやめください。



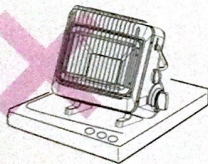
6) 送風機器(扇風機、サーキュレーター、エアコンなど)の風があたるところでは使用しない



バーナーに風があたると炎が立ち上がり、火災、やけど、本体焼損の原因になります。バーナーに風があたるような使い方は絶対におやめください。



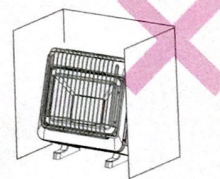
3) 他の熱源(電気こまろ、魚焼きグリルの排気口、電磁調理器など)の上で、使用や保管をしない



間違って電源等が入ると、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。



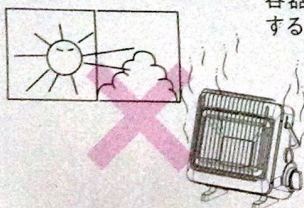
7) ストーブを囲むように覆いをしたり、乾燥などのために前面や上面を覆うような使い方をしない



引火による火災や、ストーブ焼損、過熱による爆発のおそれがあります。



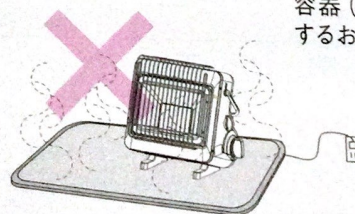
4) 容器(ボンベ)が過熱する場所では使用しない



容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



8) ホットカーペットなどの床面があたたくなるものの上に置かない



容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●直射日光のあたるサンルームや窓際など、容器(ボンベ)が過熱するような場所では使用しないでください。

3. 特に注意していただきたいこと

■使用容器(ボンベ)の保管と取り扱いについて

警告 火災や爆発事故などの危険がありますので、次のことをお守りください。

1) 火気や直射日光を避ける

容器(ボンベ)は火気や直射日光(室内や車内の窓際なども含む)を避けて、容器キャップをはめて、風通しがよく湿気の少ない、40℃以下の場所で保管してください。また長時間(外出、就寝など)ご使用にならないときは容器(ボンベ)を本商品から取り外し同様に保管してください。



2) 完全に使い切ってから廃棄する

- 使用済み容器(ボンベ)は、必ず完全に使い終わってから地域の取り決めに従って分別廃棄してください。容器(ボンベ)にガスが残っていると清掃車の火災などのおそれがあります。
- 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合には、まだガスが残っています。必ず使い切ってから廃棄してください。



3) 熱気のある場所に放置しない

容器(ボンベ)はファンヒーターやオーブントースターなど熱気が発生させる器具の周囲や、熱気のある場所には放置しないでください。熱で容器(ボンベ)内の圧力が上がり、爆発の原因になります。



4) 容器(ボンベ)は火中に投じない

容器(ボンベ)は火中に投じないでください。火中に投入すると爆発し危険です。



▲注意

1) 専用容器(ボンベ)を使用する

容器(ボンベ)は、必ず「イワタニカセットガス」の表示のある専用容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

2) 落下のおそれのある場所で容器(ボンベ)を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

3) ガスを故意に吸引しない

酸欠により窒息死する原因となります。

4) 変形のある容器(ボンベ)は使用しない

ガス漏れの原因となります。

5) 容器(ボンベ)は錆の無いことを確認して製造日(缶底に西暦年月日で印字)から約7年以内を目安に使い切ってください。

お読みください



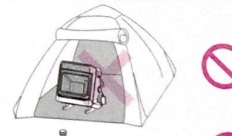
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項を、必ずお読みください。
- 使用時は容器キャップを外し、保管のときは容器キャップを押し込んで装着してください。

■使用場所についてのご注意

警告 次のような場所では、やけどや火災、窒息死の原因となりますので使用しないでください。

●狭い場所や換気の悪い場所

テント内や車内、トイレ、浴室など閉めきった狭い場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、酸欠による窒息死の原因になります。また周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。



●引火物(ガソリン、灯油、ガスなど)が近くにある場所

引火による爆発のおそれがあります。



●カーテンなどが触れる場所や紙や布類などの燃えやすいもの、熱に弱いものそばや、毛足の長いじゅうたんのう上

引火による火災のおそれがあります。



●設置面が安定していない場所

船舶上など設置面自体が揺れたり、使用中にストーブが傾いたり大きく動く場所では、炎が大きくなることもあり、やけどや火災のおそれがあります。



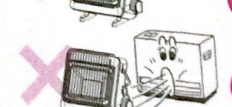
●落下物の危険がある場所

引火やストーブの転倒によるやけどのおそれがあります。



●風の吹き込む場所や風を吸い込む場所

風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体焼損のおそれがあります。



●熱気のある場所

過熱により爆発するおそれがあります。

